

学校法人中部大学 行動計画

学校法人中部大学は教職員一人ひとりが主役となって、やりがいや働きがいをもてる環境を実現するため「ワーク・ライフ・バランス」の推進に積極的に取り組み、全ての教職員がその能力を十分に発揮できるようにするとともに、本学が保有する知的・物的資源を広く提供することにより、社会の発展に貢献するため、次のような行動計画を策定する。

1. 計画期間 2022年4月1日から2025年3月31日までの3年間

2. 内容

a. 教職員のニーズを踏まえた多様な人材の活用

目標1 働きがい、生きがいのある職場づくり。

- (1) 頑張った者が報われる制度の構築。
- (2) 非正規職員から正規職員への積極的登用
目標値：登用者 毎年3名以上。
- (3) 障がい者の積極的雇用
・障がいのある本学学生（卒業見込み者）を積極的に採用。

<対策>

教職員のニーズや世間動向を見つつ、魅力ある制度を策定する。

b. 仕事時間と生活時間のバランスの実現

目標2 ワーク・ライフ・バランスの視点から、家庭と仕事の両立を目指す。

- (1) 育児・介護離職者ゼロを目指す。
- (2) 業務の簡素化・効率化の促進と時間外勤務削減意識の啓発に努める。
・各種事務手続き等のデジタル化、ペーパーレス化を促進。
・1人当たりの残業時間を20%削減する。(2018年度比)
- (3) 年次有給休暇を取得しやすい労働環境の推進。

<対策>

教職員のニーズや世間動向を見つつ、魅力ある制度を策定する。

打合せ及び会議については、所定勤務時間内での開催や、会議終了時刻を予め設定するなど、効率的な運営、実施に努める。また目的・内容によりオンラインと対面による開催を使い分け、移動時間の削減に努める。

c. U S R（大学の社会的責任の遂行）

目標3 教育機関として公的な責務を認識し、教育の質的向上を目指す。

- (1) 学生、保護者および社会に対して説明責任を果たすため、教育研究情報を公表する。
- (2) 周辺地域の住民、子ども達との連携を図るプロジェクト、科学、国際交流の楽しさを伝えるプロジェクトを実施する。
- (3) 地域住民の文化活動へ貢献する。

<対策>

学内広報誌、学内ホームページ、地域情報誌などを活用し、周知する。